

平成25年 3 月22日

各 位

会社名 株式会社ピーエスシー  
代表者名 代表取締役社長 相原 輝夫  
(コード番号: 3649)  
問合せ先 取締役管理部長 藤田 篤  
(TEL. 089-947-3388)

## 新製品のリリースに関するお知らせ

当社は、平成25年 3 月22日付で、平成25年 4 月 1 日より新製品P-Launcher/BCRの、平成25年 6 月中旬よりBCR-Data Connectorの販売開始を、それぞれ決定いたしましたのでお知らせします。

### 記

#### 1. 新製品名

P-Launcher/BCR及びBCR-Data Connector

#### 2. 新製品の機能特徴及び販売先について

##### (1) P-Launcher/BCR

P-Launcher/BCRは、当社の既存製品であるP-Launcherに、当社が開発した新技術Active Bitmap Character Reader (特願2013-025232。以下、BCRと表記) 機能を搭載した製品であります。

BCRは画面上に表示されたテキストを高速かつ正確に認識する新技術であり、一般的にOCR (Optical Character Reader) が印刷物のテキストを近似 (類似) 形状認識するのに対し、BCRでは完全一致判断を行うため確実な認識が可能です。

P-Launcher/BCRの導入により、システムにある多くの項目をコピー&貼付け等でデータを移動させるといった操作なしに、殆どのシステムから複雑なデータを自動的に確実に取得する事が可能になります。これらの機能は、一例をあげると地域医療連携 (EHR) において診療所側のボトルネックとなっていた、スムーズな共通ID取得や起動連携等を「簡単で確実にできる」が実現できるなど、院内だけでの利用にとどまらず、今後の全国的なEHRの拡大などに大きく寄与するものと考えております。

上記から、P-Launcher/BCRは全国的な医療システム連携の活性化を担うべく、一般医療機関、自治体に加え、当社以外の医療システムメーカーに対してもアプリケーション及びパーツとしての販売を行ってまいります。

##### (2) BCR-Data Connector

BCR-Data Connectorは、BCR機能を中核とする汎用データ連携ツールであります。

BCRにより、システムの画面上に表示される大量のデータを一度に確実に分解・認識できることから、これに動作マクロをセットする事で、これまでかなりの時間と費用を要していた、異なるメーカーの新旧システム間のデータ移行を短時間で行ったり、システム改造やデータベースへのアクセスを行うことなく必要なデータをページ単位で取得したりすることが可能となり、医療分野に限らず、様々な分野・シーンでの利用が想定できます。

上記から、BCR-Data Connectorは、汎用アプリケーション及びパーツとして、医療機関のほか、一般の企業・システムメーカーに対しても販売を行ってまいります。

### 3. 新製品の開発背景

一般的に、異なるシステム間でデータ連携や連携動作が要求された際には、データ連携カスタマイズもしくはデータベースから情報を取得する仕掛けが必要となります。一方で、これには相応の時間や費用を要するため、異なるシステム間でのデータ連携を行うことができる医療機関は限られていました。当社は、これを簡単安価に実現することでより多くの医療機関を当社製品の「ユーザ候補」とすべく、平成24年7月1日に、情報自動取得/仲介連携システムP-Launcher（特願2012-144881）を発売いたしました。

P-Launcherは、「システムAの画面上から必要な情報を取得し、システムBに渡す」ことを基本動作としていますが、情報を安全に取得する仕掛けには数種類あり、その幾つかを組み合わせて動作させることで、医療における患者連携を実現しております。そしてそれらの仕掛けの中には、「システムから100%確実にデータを取得できない場合に、画面上に表示されている文字を画像として切り出し、文字認識（OCR）を行ってデータを取得する」というものがあります。

この手法においては、一般の印刷された文字やPDFからのOCRは高い認識率を実現できますが、画面上に表示された文字は、OCRの作業上から見ると「かなり粗い文字」であるため、英数字などは認識できても、日本語文字になると実用的な認識が難しい状況でした（※1）。

患者連携や起動連携であれば、患者番号（患者ID：6～10ケタ程度の数字）が認識できればこと足るため、従来のP-Launcherの利用により実現が可能でしたが、医療現場の真のニーズはそこにとどまらず、P-Launcherを「地域連携の基本ツールとして」利用したり、「画面上に表示されたかなりの文字数の日本語のデータ取得」を行うことで、より高度で広範囲な連携を可能にしたりすることになりました。

そこで当社では、文字認識の問題を解決して医療現場の真のニーズを満たすために、画面上に表示される一般テキスト文字を、OCRよりも高速にかつ100%認識する新技術Active Bitmap Character Readerの開発に取り組み、この度製品化に至りました（※2）。

※1：一般的にPCの画面上に表示される12ポイント前後の各種フォント文字の場合

※2：取得した文字画像データが何らかの原因で認識前に破損もしくは汚染された場合は100%認識できないケースがありますが、その際は、チェック用エラー通知が確実に行われます。

### 4. 業績への影響と今後の見通し

当製品は、当社が対処すべき課題として捉えていた地域医療連携ソリューションや他分野への展開を実現していく製品であります。P-Launcher/BCRにあっては医療機関での検討にそれなりの期間を要することから、BCR-Data Connectorにおいては当社がこれまで経験のない分野での販売となることから、現時点では「平成24年12月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」に記載の業績予想は据え置くことといたします。

なお、本プレスリリースに係る業績予想の修正等開示が必要となった場合には速やかにお知らせいたします。

以上